

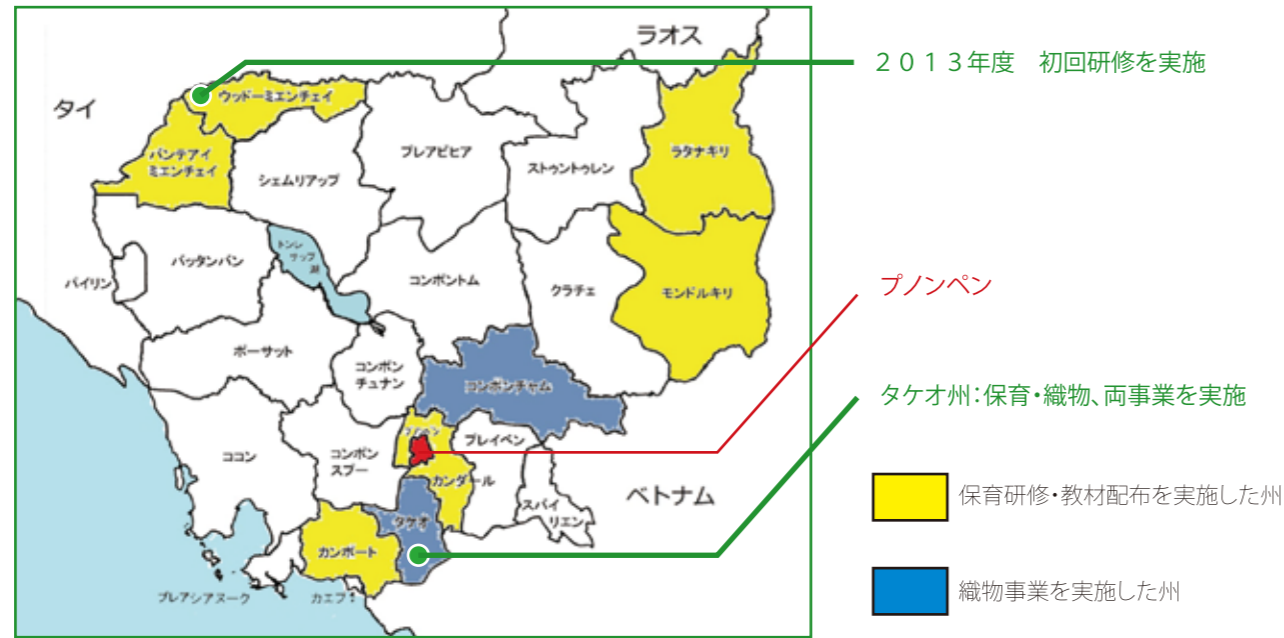
年次報告書 2014

子どもたちの明日









## I. カンボジア保育事業

どうすればより多くの子どもたちによりよい保育の場を作ることができるかを課題に2011年から試行錯誤してきたC Y R「村の幼稚園」は、やっと5カ所になった。しかし人口に占める子どもの割合が日本の倍以上だ。もっと加速させることができないだろうか。これからの課題だ。一方でプノンペン市街にあるたくさんのスラムで暮らす子どもたちの支援の可能性を調査する。

C Y Rはこれまでこれからも、カンボジアの明日を考え、子どもたちの健やかな成長を願って支援を続ける。



## II. カンボジア織物事業

農村に暮らす女性たちの経済的自立と、戦争で失われてしまった伝統文化の復興を目指して、織物研修センターを開いている。染めの技術研修では、草木染め。織りの技術研修では、絣織りや新しい図柄の技術を身につける。織物研修センターに通えない女性のためには巡回研修を実施する。家事や農業をしながら機を織り、家族の生計を支えていく。製品はカンボジアや日本で販売し、収益を織物事業に役立てる。



## III. 日本国内事業

2015年2月、C Y Rは35周年を迎える。難民キャンプとカンボジア・タイで、子どもたちが健やかに育つ環境づくりを目指してきた経験は、東日本大震災被災地で、地域の人々と協力して続ける保育支援に活かされている。国際協力を志す若者や、子どもたちのためにと動き始めた会員、支援者、ボランティアと共に、日本とカンボジアをつなぐ機会を増やし、現場の最新情報をあらゆる手段で伝え、より多くの支援が子どもたちに届くよう心がける。



## I. カンボジア保育事業

### 1. C Y R独自事業

**バンキアン保育所・ブレイトウ保育所:** 2013年度は51名の子どもが卒園し、小学校に入学した。両園で保育者5名。保育料を一日25円から38円に値上げ。保育所運営委員会、保育者、給食係、保護者の協力で、米・野菜づくり、養魚を行い、給食に使用した。2014年度は地域の協力を得て、保育者の給与が賄える仕組みを考え、保育内容の充実、行事の立案・運営を保育者が主体的に行う。

**村の幼稚園:** 2011年度から開始した「村の幼稚園」は、2013年度はタケオ州に3カ所を開き、計5カ所となった。2014年度はC Y Rが支援したことのある村で4箇所開設する。モニタリングで保育者と話し合い、保育者給与と給食を継続している。4年後に村の運営に委ねる計画で委員会と話し合い、給食費を払えない保護者に「みんなで布チョッキン」のボール縫製を依頼し、保護者が収入を得る仕組みをつくった。保育者の技術不足、保育料が払えない保護者が多くなど、幼稚園がある村によって異なった問題があり、時間をかけて対応する必要がある。

### 2. 現地NGO支援事業

**カンボジアのNGO「ケマラ」:** 2003年、首都プノンペンのスラムで、「ケマラ」の要請に応じて、保育所2カ所の再開に協力したことを皮切りに6カ所の保育所運営、保育内容、設備を支援してきた。自立運営が可能になったため、現在では保育所9カ所に毎月、豆乳を支援し、保育状況を見学している。

### 3. 教育省との共同事業

**公立幼稚園支援:** 2005年、教育省の要請で、教材配布研修を僻地公立幼稚園で開始。2013年度は5州でモニタリング・二次研修を続けた。教育省にとっては、公立幼稚園と公立地域幼稚園(簡易幼稚園)の実情を知り、直接指導するよい機会となっている。

**公立地域幼稚園支援:** 公立地域幼稚園は2008年から、カンボジア政府が世界銀行等の支援を受けて、就学率を上げる対策として全国に451カ所を開設し、CYRは研修に協力した。2013年度は追加支援として、絵本研修・配布や「みんなで布チョッキン」ボールの配布・使い方の研修をモンドキリ州他6州で実施した。カンボジア政府は3年間で新たに1000カ所の公立地域幼稚園を開園する計画で、CYRは2014年に開園する300カ所に教材の研修・配布を行う。

### 4. その他の事業

**トロピエンスパイ公立小学校と5歳児クラス:** 2005年、スラムに小学校(5歳児クラスを含む)を建設。2013年度には近隣の5村から児童613名が通学するまでになった。給食を提供し、給食係に給与を支払った。給食費を払えない保護者に「みんなで布チョッキン」のボール縫製を依頼した。2014年度も同様の支援を継続する。

**テッカポンヨ公立幼稚園:** カンボジア政府は2005年、幼児教育を強化する方針を掲げ、CYRは、サムロン地域の小学校敷地に「テッカポンヨ公立幼稚園」を建設。保育者2名の派遣と給与支援、教材提供と研修、給食支援を行った。2013年度は、保育者3名の研修・会議、教材作りの支援を行い、毎月、豆乳とパンを提供した。CYRの支援は2013年度で終了した。

### 5. 教材製作・支援事業

**翻訳絵本7種の印刷、研修・配布:** 福音館書店発行の絵本7種を東京外国語大学カンボジア語専攻の学生6名の協力により、カンボジアで印刷、出版した。これらの絵本は、保育所・幼稚園、公立幼稚園、公立地域幼稚園に配布し研修を行った。印刷部数は絵本各500冊、計3,500冊。翻訳した絵本は、「ほね」「みんなうんち」「しっぽのはたらき」「ねないこだれだ」「にんじん」「いやだいやだ」「もじゃもじゃ」



©小林正典





## II. カンボジア織物事業

### 1. 織物技術研修事業

**緋織研修:**日本から注文を受けた帯の製作者に縦糸作りの研修会を行なった。2014年度はピダン(仏像の天蓋緋織)研修、緋織研修をそれぞれ3ヶ月開催する。草木染めの技術指導、新しい色あわせ、伝統模様の帯製作技術を高める指導を行う。

**巡回研修:**6月に新しい図柄を学ぶ巡回研修を実施した。2014年度は、同地域で織り手40名に、新しい模様の括り方研修を2回実施する。



### 2. 染色技術研修事業

**藍染め研修(コンボンチャム州、タケオ州織物研修センター):**コンボンチャム州アンコールバーン村で、泥藍作り・藍染め研修を参加者7名で2回実施した。織物研修センターで、絹糸の試染をしたが、退色が多かった。2014年度は、同地域で7名に、泥藍作り、藍染め技術研修を続け女性たちが、確実に収入が得られるよう、グループの協働作業を働きかける。織物研修センターでは藍建て、藍染めの実習を継続する。



**草木染め研修:**織物研修センターで草木染めの研修を実施した。草木染めに関心がある来訪者を受け入れ、技術と製品に対する理解を広めた。2014年度も継続して実施する。

### 3. 織物製作販売事業

**織物製作:**ピダン(仏像の天蓋緋織)、緋布、無地布、帯を制作した。新デザイン導入でスカーフの品揃えを増やした。2014年度は新製品開拓と共に、ピダン等の新しい柄を研究する。



**織物販売:**カンボジア事務所移転に伴いショップ「ピダン クメール」を開店した。立地が良く織物の売上がのびた。2014年度はプノンペン「インターコンチネンタルホテル」ギャラリーで、4月24日～5月25日にピダンの展示販売をした。

**出張販売:**「日本人会」のイベント、クリスマスセールなどで販売した。2014年度も継続して出張販売先を開拓。

**委託販売:**シエムリアップ州で「日本国際協力財団」が運営するNGOアンテナショップとミラクルホテルで委託販売を始めた。プノンペンでは「チュム(トゥールスレン博物館前)」で開始。委託販売は5カ所に広がった。2014年度は、委託販売店舗をシエムリアップ州に4店、プノンペンに2店を増やす。

**その他:**日本・カンボジア友好60周年を記念して、8月27日から9月3日、阪急うめだ本店、アートギャラリーで、「よみがえるカンボジア伝統緋織ピダン 一布にこめられた文化・信仰」と題して展示会を開催し、ピダン17点を展示。カンボジア国立博物館では、「ピダンプロジェクトチーム」との協力で2014年1月25日から4月27日に、「甦るクメールの至宝・ピダン緋織展」が開催され、研修指導者と研修卒業生の作品14点が展示された。



### 1. 独自事業

	子ども 在籍数	研修 対象者数	州・郡 担当者	給食支援	絵本7種	教材セット	研修の種類
プレイタウ保育所	46	3+給食係1		○	配布済	2012年以前配布	モニタリング&研修
バンキアン保育所	40	4		○	配布済	2012年以前配布	モニタリング&研修
プラサート村の幼稚園	46	2		○	配布済	2012年以前配布	モニタリング&研修
タプロム村の幼稚園	20	1		○	配布済	2012年以前配布	モニタリング&研修
カンダール村の幼稚園	32	1		○	—	○	モニタリング&研修
トロピエンクロライン村の幼稚園	18	1		○	—	○	モニタリング&研修
プンプノン村の幼稚園	15	1		○	—	○	モニタリング&研修

### 2. 現地NGO 支援事業

	子ども 在籍数	研修 対象者数	州・郡 担当者	給食支援	絵本7種	教材セット	研修の種類
ケメラ保育所6カ所	277	18		○	配布済	2012年以前配布	モニタリング

### 3. 教育省との共同事業

	子ども 在籍数	研修 対象者数	州・郡 担当者	給食支援	絵本7種	教材セット	研修の種類
<b>1) 公立幼稚園</b>	5958	193	18				
モンドルキリ州	300	9	3	—		2012年以前配布	教材二次研修
ラタナキリ州	542	23	3	—		2012年以前配布	教材二次研修
カンポット州	976	17	3	—		2012年以前配布	教材二次研修
バンティアイミエンチェイ州	2,712	88	3	—		2012年以前配布	教材二次研修
ウドミエンチェイ州	1,428	56	6	—		○	初回研修
<b>2) 公立地域幼稚園</b>	<b>5,159</b>	<b>222</b>	<b>41</b>				
カンダール州	2,520	102	12	—	○	2012年以前配布	絵本の配布・研修
タケオ州	1,002	40	9	—	○	2012年以前配布	絵本の配布・研修
モンドルキリ州	54	3	1	—	○	2012年以前配布	絵本の配布・研修
ラタナキリ州	83	4	3	—	○	2012年以前配布	絵本の配布・研修
カンポット州	1,060	54	8	—	○	2012年以前配布	絵本の配布・研修
バンティアイミエンチェイ州	440	19	8	—	○	2012年以前配布	絵本の配布・研修

### 4. その他の事業

	子ども 在籍数	研修 対象者数	州・郡 担当者	給食支援	絵本7種	教材セット	研修の種類
トロピエンスバイ小学校 5歳児クラス	618	14	—	○	—	2012年以前配布	モニタリング
テッカポンヨ公立幼稚園	106	3	—	○	—	2012年以前配布	モニタリング&研修

\*研修対象者にはCYRが日当・交通費・宿泊費を支給。\*絵本7種は2013年度事業 \*○印は2013年度に配布した施設である

### 5. 織物事業

	研修生	研修担当者	CYR職員	給食提供
草木染め研修(タケオ州織物研修センター)	5	3	7	—
帯経系他研修(タケオ州織物研修センター)	7			○
巡回研修(タケオ州プレイカバス郡)	16			—
藍染研修(コンボンチャム州・タケオ州織物研修センター)	11			—
タケオ州織物研修センター図書室	延2108	—	1	—



### Ⅲ. 日本国内事業

#### 1. 東日本大震災被災地支援事業

東日本大震災後、子どもたちが安心して楽しく過ごせる居場所づくりを目的に、被災地・移転先で地域の人々が行う保育に協力を続けた。2013年度は、福島県の「子育てサロン」・「やまゆり保育所」、宮城県の「おおぞら保育園」・「つぼみ保育園」を対象に、保育者手当、給食費、家賃、環境整備費等を支援した。2014年度は保育支援を続けながら、福島県浪江町の保護者と元園児、保育者の文集づくりに協力する。

#### 2. 広報事業

##### 「みんなで布チョッキン」(カンボジアの子どもたちに遊具を届けるボランティア活動)

2013年度参加者2,269名、団体実施数71回だった。人形1,203体とボール1,932個が、カンボジアに届けられた。2014年度は、地方の団体・個人に広く参加を呼びかけるため、布チョッキンリーフレットを刷新する。

##### 活動報告会

2013年5月、次のテーマで行った。①ふやそう!村の幼稚園 チャン・スレイ(当会カンボジア事務所 所長代行) ②震災を超えて～子どもたちの未来のために 災害子ども支援ネットワークみやぎ代表 小林純子氏

2014年は「子どもたちの明日～カンボジアで、日本で～」と題して行う。

##### ニュースレター

「子どもたちの明日」を4回、各2000部発行、ボランティアの協力で作成した。2014年度はニュースレター第1号から最新号までをホームページで公開する。

##### 年次報告書

「年次報告書2013」を2013年6月に2000部発行。

##### ホームページ、フェイスブック、ツイッター

ボランティア、インターンが主となって、インターネット上での情報発信を行った。2014年度も、カンボジアの活動や国内外のイベントについて、最新情報を伝える事を心がけ、会員・支援者の関心に応える努力を続ける。

##### マスコミ取材

2013年9月16日、TBS系列の番組「アジア熱風街道ーメコンを結ぶ1000キロの旅ー」で、カンボジア織物事業が紹介された。

##### カレンダー

2015年度版カレンダーを、「ピダン(寺院の天蓋絹絵)」をテーマに写真家に依頼して製作、販売する。カンボジアの織物とCYR織物事業への理解と支援を呼びかける。

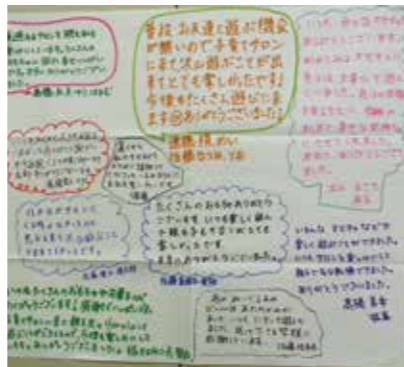
##### ボランティア・インターン

2013年度、活動に参加したボランティアは延べ785名。「みんなで布チョッキン」、織物販売、発送作業などを行った。大学生2名が1年間、インターンとして参加した。

#### 3. 織物販売事業

2013年度、ピダン展は4カ所(明治寺・阪急百貨店・正光院・東慶寺)、委託販売は11カ所、出張販売は13カ所で行った。

2014年は手軽に織物製品に触れて委託販売を行えるように、新しく作成した案内チラシで委託販売先を開拓するとともに、新たなピダン展開催先・出張販売先を展開する。販売拡大により、カンボジアの織り手の収入を増やし、伝統技術の継承につなげる。ピダン展は、年5回開催を目標に実施する。第1回として、7月14日(月)～20日(日)に、「銀座煉瓦画廊」でピダンと織物製品の展示販売を行う。



### 活動計算書(要約)

(単位:千円)

科目	2013年度予算	2013年度決算	増減	2014年度予算
<b>I 経常収益</b>				
1 会費収入	3,000	2,171	△ 829	2,171
2 寄付収入	31,000	28,479	△ 2,521	28,478
3 事業収入	10,000	12,079	2,079	12,080
4 補助金収入	15,000	8,103	△ 6,897	5,500
5 その他収益	200	517	317	240
経常収益計	59,200	51,349	△ 7,851	48,469
<b>II 経常費用</b>				
1 事業費				
(1) 人件費	22,670	21,452	△ 1,218	12,691
(2) その他経費	26,050	21,213	△ 4,837	24,312
事業費計	48,720	42,665	△ 6,055	37,003
2 管理費				
(1) 人件費	12,180	7,985	△ 4,195	5,041
(2) その他経費	6,150	6,008	142	6,778
管理費計	18,330	13,993	△ 4,053	11,819
経常費用計	67,050	56,658	△ 10,108	48,822
当期経常増減額	△ 7,850	△ 5,309	2,257	△ 353
<b>III 経常外収益</b>				
1 その他収益	0	3,883	3,883	0
経常外収益計	0	3,883	3,883	0
当期正味財産増減額	△ 7,850	△ 1,426	6,140	△ 353
前期繰越正味財産額	46,310	46,310	0	44,884
次期繰越正味財産額	38,460	44,884	6,140	44,531

### 貸借対照表(要約)

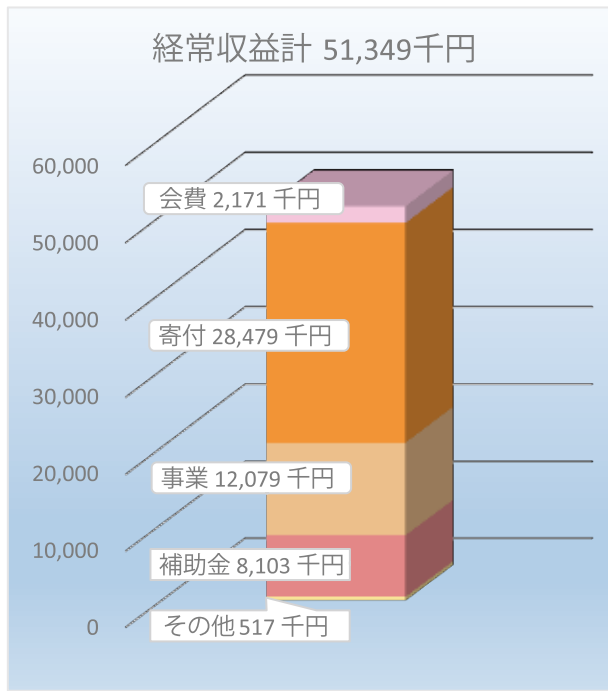
2014年3月31日現在 (単位:千円)

科目	金額
<b>I 資産の部</b>	
流動資産	48,979
固定資産	1,100
資産合計	48,979
<b>II 負債の部</b>	
流動負債	568
固定負債	3,527
負債合計	4,095
<b>III 正味財産の部</b>	
前期繰越正味財産	46,310
当期正味財産増減額	△ 1,426
	44,884
負債及び正味財産合計	48,979

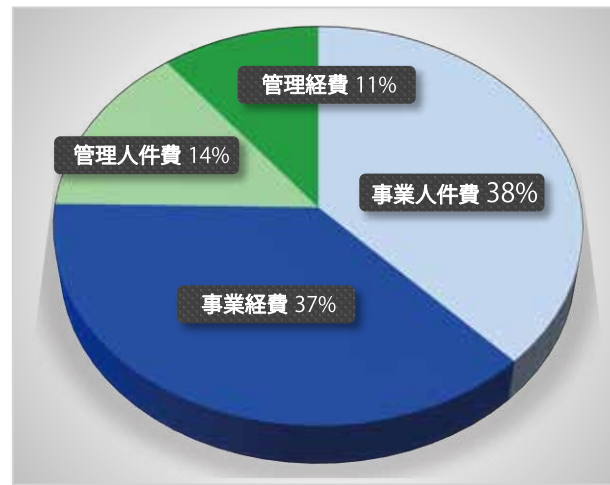
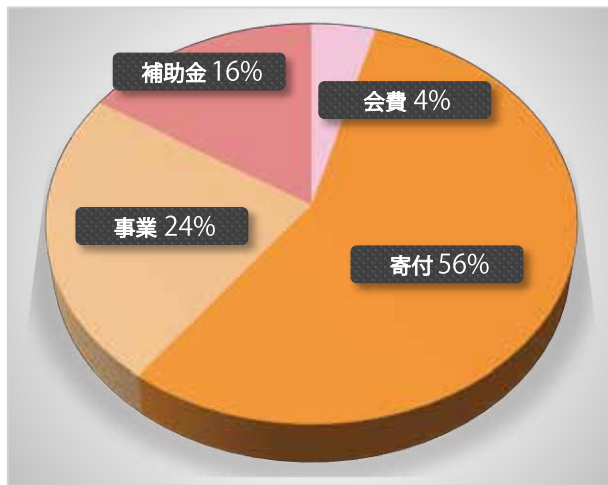
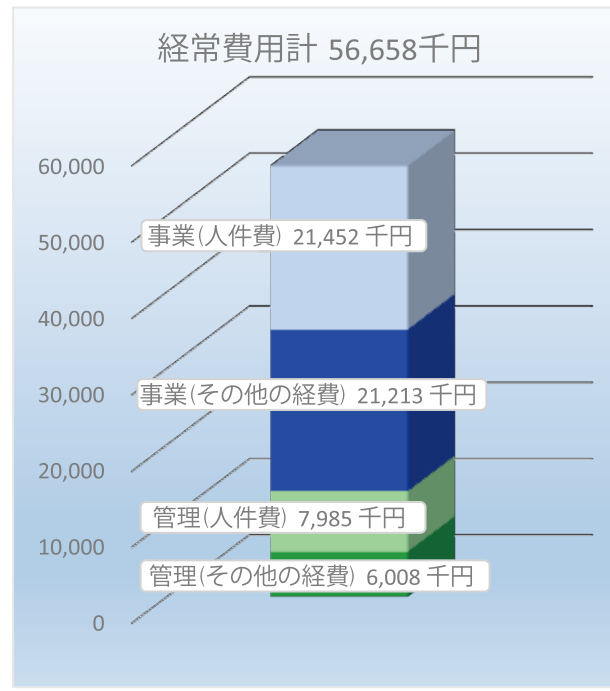
- 寄付金収入は、東日本大震災から3年が経過し、当初予算でも減少を見込んでいたが、予想よりも一般募金、地震募金の収入の減少が大きかった。一方で布チョッキン募金は広報に力を入れた結果、予算を上回る事ができた。この結果、寄付金収入は、予算よりも約2.5百万円少ない結果となった。2014年度予算は今期と同額を見込んでいる。
- 事業収入については、予算で見込んでいたカレンダーの発行(国内)を今期は行わなかったため、カレンダー販売収入が無かったが、カンボジア事務所の立地条件の良い場所への移転などにより、織物販売収益が予算よりも増加した。その結果事業収入全体では予算を上回る事ができた。2014年度予算は今期と同額を見込んでいる。
- 補助金については、予算段階では見込んでいた補助金の一部が認められなかったため収入が大きく予算を下回った。2014年度予算は助成が確実に見込まれるもののみを予算に計上した。
- 収入全体では補助金収入の減少が大きく影響し、経常収益は予算比7.9百万円の減少であった。
- 従来、帳簿外となっていた織物製品を今期末より棚卸資産として計上している。これにともなう過年度及び当年度の費用修正額は、2013年度活動計算書の経常外収益にその他収益として計上している。
- 費用面では、2013年予算の段階から事業人件費の減少を見込んでいたが東京事務所の広報担当者及び経理担当者が2013年7、8月に退職し、カンボジア事務所でも織物担当の日本人が1名退職したことにより、管理人員費、事業人員費ともに大きく減少した。2014年度は欠員の補充による人件費の増加はあるものの、2014年3月末までの前事務局長の退職、国内給与ベースの引下げにより人件費の大幅削減を見込んでいる。なお東京事務所移転(7月)による賃借料の減少については引越費用負担により2014年度は費用削減効果は僅少であるが、2015年度以降は2013年度実績に比べ約2.5百万円の費用削減が見込まれる。



2013年度 収入の内訳



2013年度 費用の内訳



2013年度事業部門別 活動計算書

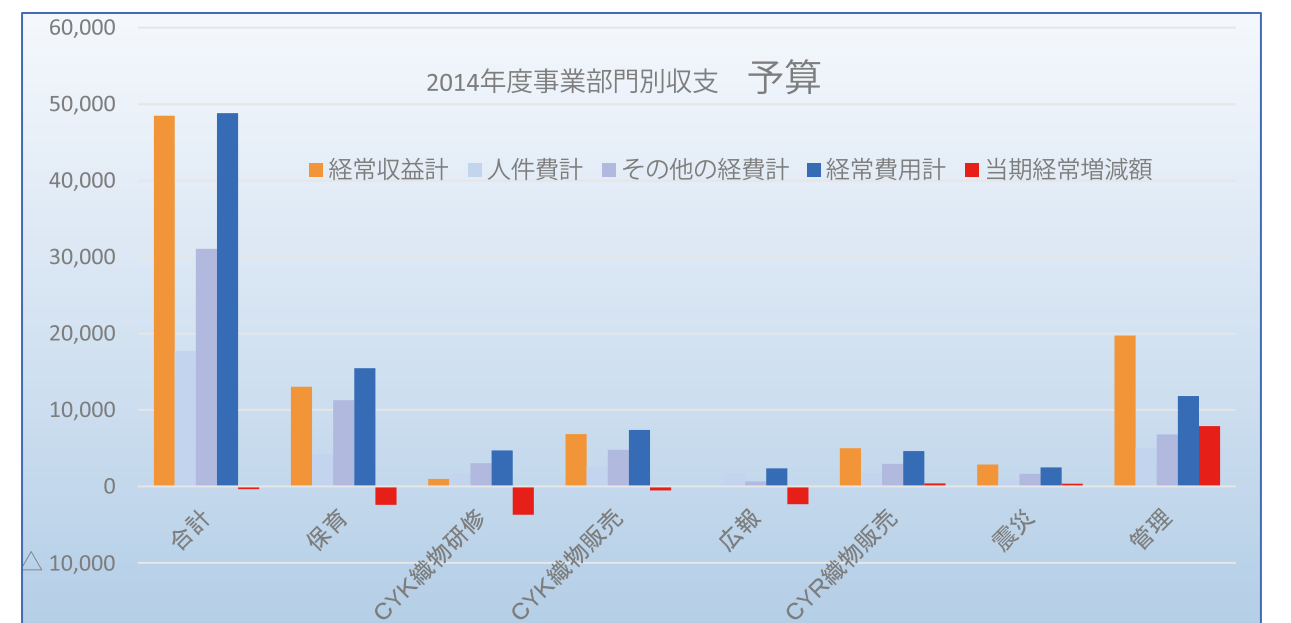
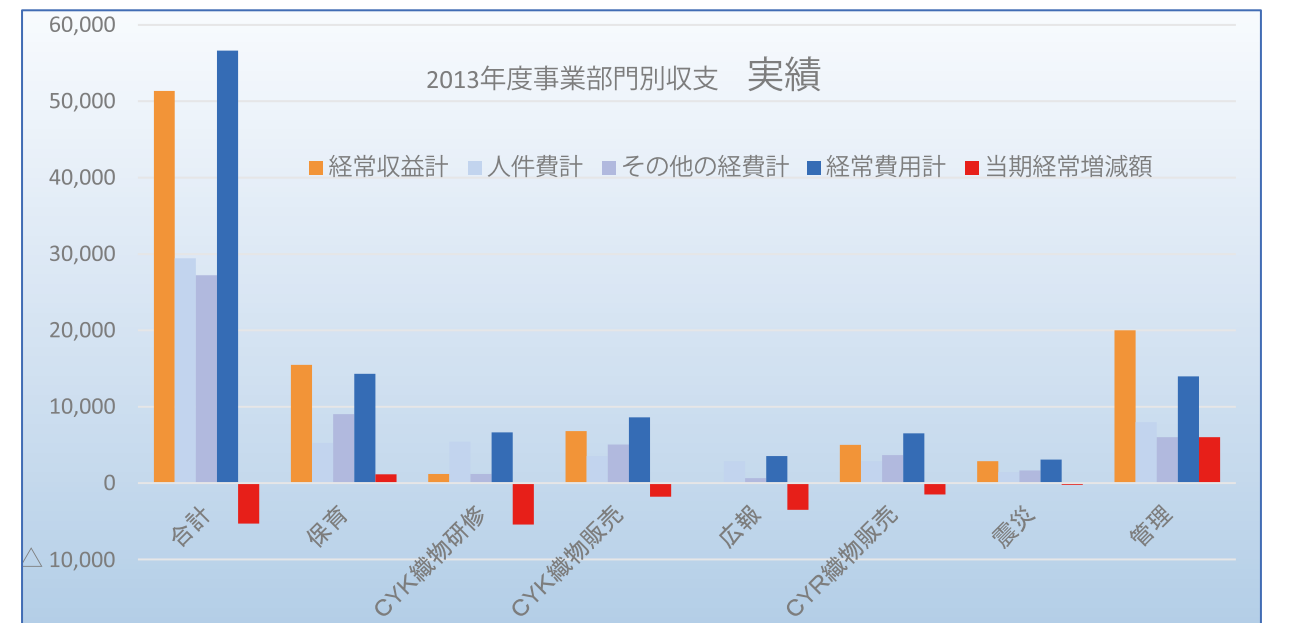
(自2013年4月1日 至2014年3月31日) (単位：千円)

科目	合計	カンボジア事業			国内事業			管理
		保育	織物研修	織物販売	広報	織物販売	震災	
<b>I 経常収益</b>								
会費収入	2,171	0	0	0	0	0	0	2,171
寄付収入	28,479	8,554	0	0	0	0	2,861	17,064
事業収入	12,079	0	0	6,825	0	5,017	0	237
補助金収入	8,103	6,911	1,192	0	0	0	0	0
その他収入	517	0	0	0	0	0	0	517
<b>経常収益計</b>	<b>51,349</b>	<b>15,464</b>	<b>1,192</b>	<b>6,825</b>	<b>0</b>	<b>5,017</b>	<b>2,861</b>	<b>19,989</b>
<b>II 経常費用</b>								
人件費計	29,438	5,273	5,433	3,550	2,879	2,879	1,439	7,985
その他の経費計	27,221	9,034	1,202	5,050	642	3,644	1,640	6,008
<b>経常費用計</b>	<b>56,658</b>	<b>14,307</b>	<b>6,635</b>	<b>8,600</b>	<b>3,520</b>	<b>6,523</b>	<b>3,080</b>	<b>13,993</b>
<b>当期経常増減額</b>	<b>△ 5,309</b>	<b>1,158</b>	<b>△ 5,443</b>	<b>△ 1,774</b>	<b>△ 3,520</b>	<b>△ 1,506</b>	<b>△ 219</b>	<b>5,996</b>
<b>III 経常外収益</b>								
雑収入	3,883	0	0	1,901	0	1,973	0	8
<b>経常外収益計</b>	<b>3,883</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>1,901</b>	<b>0</b>	<b>1,973</b>	<b>0</b>	<b>8</b>
<b>当期正味財産増減額</b>	<b>△ 1,426</b>	<b>1,158</b>	<b>△ 5,443</b>	<b>127</b>	<b>△ 3,520</b>	<b>467</b>	<b>△ 219</b>	<b>6,005</b>
前期繰越正味財産額	46,310	0	0	0	0	0	0	46,310
次期繰越正味財産額	44,884	1,158	△ 5,443	127	△ 3,520	467	△ 219	52,314

2014年度事業部門別 活動予算書

(自2014年4月1日 至2015年3月31日) (単位：千円)

科目	合計	カンボジア事業			国内事業			管理
		保育	織物研修	織物販売	広報	織物販売	震災	
<b>I 経常収益</b>								
会費収入	2,171	0	0	0	0	0	0	2,171
寄付収入	28,478	8,553	0	0	0	0	2,861	17,064
事業収入	12,080	0	0	6,826	0	5,017	0	237
補助金収入	5,500	4,500	1,000	0	0	0	0	0
その他収入	240	0	0	0	0	0	0	240
<b>経常収益計</b>	<b>48,469</b>	<b>13,053</b>	<b>1,000</b>	<b>6,826</b>	<b>0</b>	<b>5,017</b>	<b>2,861</b>	<b>19,712</b>
<b>II 経常費用</b>								
人件費計	17,732	4,206	1,670	2,561	1,702	1,702	850	5,041
その他の経費計	31,090	11,257	3,044	4,803	641	2,926	1,641	6,778
<b>経常費用計</b>	<b>48,822</b>	<b>15,463</b>	<b>4,714</b>	<b>7,364</b>	<b>2,343</b>	<b>4,628</b>	<b>2,491</b>	<b>11,819</b>
<b>当期経常増減額</b>	<b>△ 353</b>	<b>△ 2,410</b>	<b>△ 3,714</b>	<b>△ 538</b>	<b>△ 2,343</b>	<b>389</b>	<b>370</b>	<b>7,893</b>
当期正味財産増減額	△ 353	△ 2,410	△ 3,714	△ 538	△ 2,343	389	370	7,893
前期繰越正味財産額	44,884	0	0	0	0	0	0	44,884
当期正味財産増減額	44,531	△ 2,410	△ 3,714	△ 538	△ 2,343	389	370	52,777



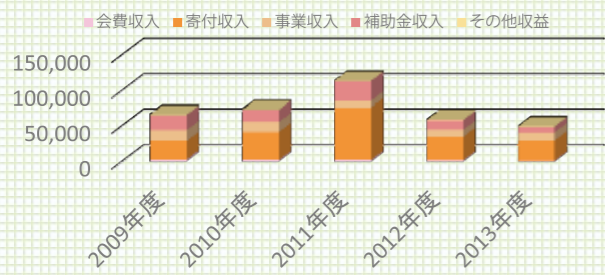


## 活動収支年度別推移表 (要約)

(単位:千円)

科目	2009年度	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度
<b>I 経常収益</b>					
1 会費収入	4,141	3,420	3,476	2,803	2,171
2 寄付収入	26,201	39,588	74,182	33,457	28,479
3 事業収入	15,608	14,264	9,549	9,959	12,079
4 補助金収入	21,302	17,150	27,757	13,520	8,103
5 その他収益	336	172	217	655	517
経常収益計	67,588	74,594	115,181	60,394	51,349
<b>II 経常費用</b>					
1 事業費					
(1) 人件費	39,324	41,383	53,385	37,504	21,452
(2) その他経費	35,468	26,365	35,498	42,846	21,213
事業費計	74,792	67,748	88,883	80,350	42,665
2 管理費					
(1) 人件費				12,459	7,985
(2) その他経費	6,046	8,146	6,779	6,811	6,008
管理費計	6,046	8,146	6,779	19,270	13,993
経常費用計	80,838	75,894	95,662	99,620	56,658
当期経常増減額	△ 13,250	△ 1,300	19,519	△ 39,226	△ 5,309
<b>III 経常外収益</b>					
当期正味財産増減額	△ 13,250	△ 1,300	19,519	△ 39,226	△ 1,426
前期繰越正味財産額	82,567	67,317	66,017	85,536	46,310
次期繰越正味財産額	69,317	66,017	85,536	46,310	44,884

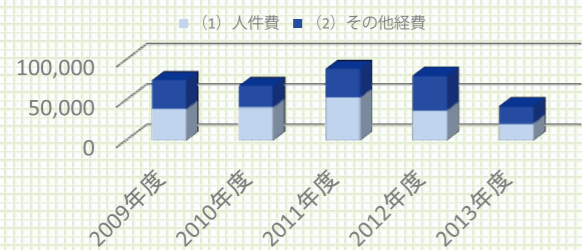
経常収入の内訳推移



経常収入については、2011年に東日本大震災が起きたためその年度は以前に比べて寄付金収入が激増した、2011年度の寄付収入は約74百万円と多額であったが、2012年、2013年と震災から時間が経過するにつれて、寄付収入は2012年約33百万円、2013年約28百万円と減少してきている。

また、補助金収入も同じ理由から2011年度に激増したが、同じ傾向をたどっている。この結果経常収入全体でも、激増した2011年度の115百万円から2012年度60百万円、2013年度51百万円と減少してきている。

事業費の内訳推移



2011年度の震災募金ほかによる収入増加に呼応して事業費を増加した。

ただし、2011年度の激増した収入を当該年度ですべて事業活動に投入できず2011年度は約20百万円正味財産が増加し、翌年度に繰り越している。

2012年度は、収入の減少にもかかわらず前年度の事業拡大による人員体制をほぼそのまま継続した結果、事業費人件費率が2011年度の46.3%から、2012年度62.1%に上昇した。(この期から管理費にも人件費を振分けている。) このため、2012年度人員体制の見直しを行ったほか、2013年度中に退職者もあり2013年度の事業費人件費率は、41.8%に低下した。

管理費の内訳推移



2012年度から人件費の一部を管理費として計上している。2012年度の事業費と管理費を合わせた人件費は、2011年度の53百万円とほぼ変わらない50百万円弱である。

経常収入が2011年度の115百万円から2012年度約60百万円へ約55百万円減少したため、人件費支出を賄いきれず、2012年度は大幅な経常赤字となり、2012年度は、約39百万円の正味財産の減少となっている。

2013年度は、期中で退職者が3名いたこと及び新規採用者の給与ベースの引下げを行ったことにより、人件費は前年度比大幅減となっている。

## 2013年度 補助金受け入れ先

独立行政法人郵便貯金・簡易生命保険管理機構 (国際ボランティア貯金寄附金配分事業)	-----	4,910,904円
日本労働組合総連合会 「連合・愛のキャンパ」中央助成金	----	2,000,000円
公益財団法人日本国際協力財団 助成金	-----	1,192,000円

## 2013年度 寄付者 (10万円以上寄付の団体) (50音順)

朝日生命保険相互会社  
味の素株式会社  
公益財団法人あすて  
あすてボランティア  
株式会社一五不動産情報サービス  
特定非営利活動法人WE 2 1 ジャパン厚木  
特定非営利活動法人WE 2 1 ジャパン港南  
特定非営利活動法人WE 2 1 ジャパンざま  
特定非営利活動法人WE 2 1 ジャパンたま  
特定非営利活動法人WE 2 1 ジャパンみどり  
枝光学園幼稚園  
えん21  
幼い難民を考える会あいち  
幼い難民を考える会チャリティー・バザーグループ  
CANTATE DOMINO  
関東学院六浦中学校・高等学校生徒会  
グループエム・ジャパン株式会社  
宗教法人 孝道山本佛殿  
ゴールドマン・サックス証券株式会社  
全日本自治団体労働組合熊本県本部  
聖心女子大学同窓会宮代会  
聖心女子学院同窓会有志"グループ五つの星"  
全国友の会  
東京海上日動あんしん生命保険株式会社  
ドシェーン会7回生有志  
日蓮宗宗務院  
公益社団法人日本フィランソロピー協会  
百観音明治寺  
株式会社フェリシモ基金事務局  
三井住友銀行ボランティア基金  
三菱商事株式会社  
メリルリンチ日本証券株式会社

2013年度 みんなで布チョッキン実施団体 (50音順)

実施団体名	実施場所
アクセンチュア株式会社	東京・神奈川
三井住友海上火災保険株式会社 (MS&ADゆにぞんスマイルクラブ)	東京
幼い難民を考える会 あいち	愛知
株式会社ジェーシービー	東京・大阪
株式会社ちえのわハウス	神奈川
株式会社東京海上日動キャリアサービス	東京・岩手・宮城
株式会社中村屋	東京
教覚寺女性の会	静岡
ギャップジャパン株式会社	東京
グループエム・ジャパン株式会社	東京
慶應義塾高等学校	神奈川
ゴールドマン・サックス証券株式会社	東京
全日本自治団体労働組合神奈川県本部 保育集会	神奈川
東南アジア保育支援の会	東京
特定非営利活動法人WE 2 1 ジャパンざま	神奈川
特定非営利活動法人WE 2 1 ジャパンほどがや	神奈川
特定非営利活動法人キルトネットワークジャパン	愛知
日本オラクル株式会社	東京
日本マイクロソフト株式会社	東京
丸紅株式会社	東京
三菱商事株式会社	東京
株式会社三菱東京UFJ銀行 受託財産業務部	東京
メリルリンチ日本証券株式会社	東京
レンドリース・ジャパン株式会社	愛知・広島・福岡
<b>実施協力団体名</b>	
公益社団法人日本フィランソロピー協会	
東京ボランティア・市民活動センター	

2013年度 織物製品主要販売先 (50音順)

団体名ほか	所在	販売形態
「ラタナ」店	東京	店舗
「ピダン・クメール」店	プノンペン	店舗
百観音明治寺	東京	出張
東慶寺	神奈川	出張
メリルリンチ日本証券株式会社	東京	出張
宮代祭	東京	出張
三菱商事サマーチャリティバザー	東京	出張
カトリック高輪教会	東京	出張
正光院ピダン展	東京	出張
孝道山大黒まつり	神奈川	出張
カテドラル教会バザー	東京	出張
カトリック上野教会	東京	出張
カトリック赤堤教会	東京	出張
UBS証券株式会社	東京	出張
株式会社細尾	京都	卸
幼い難民を考える会 あいち	愛知	委託
有限会社アイ・エンタープライズ	東京	委託
葡萄の木	東京	委託
慶應義塾高等学校	神奈川	委託
ゾナゾナクラブ	奈良	委託
クロマニヨン	神奈川	委託
アンコール ビレッジ ホテル	シムリアップ	委託
クマエユーン ショップ	シムリアップ	委託
ソカ アンコール リゾート ホテル	シムリアップ	委託
スーベニアショップ サラ	シムリアップ	委託
ミラクル プティク	シムリアップ	委託
特定非営利活動法人WE 2 1 ジャパン港南	神奈川	委託
特定非営利活動法人WE 2 1 ジャパン厚木	神奈川	委託

会員数

	2009年3月末	2010年3月末	2011年3月末	2012年3月末	2013年3月末	2014年3月末
内訳						
個人	401	400	370	339	342	339
団体	6	7	6	6	6	3
学生	14	12	15	15	10	9
計	421	419	391	360	358	351

賛助会員

	2009年3月末	2010年3月末	2011年3月末	2012年3月末	2013年3月末	2014年3月末
	113	52	47	45		

(注)2012年6月より賛助会員の制度は廃止しました。

寄付者数

	2009年3月末	2010年3月末	2010年4月末	2012年3月末	2013年3月末	2014年3月末
	922	622	541	2,018	1,389	537
					個人	428
					団体	109

役員

2014年3月末現在

代表理事	深水 正勝
理事	交野 政博
理事	高木 正彦
理事	田中 周子
理事	深津 高子
理事	松岡 玲子
理事	山田 暢子
監事	大川 晴一郎
監事	鈴木 雅博

(注1) 吉川健治氏は、2014年3月15日付けで理事を辞任しました。  
(注2) 大川晴一郎氏は、2014年4月15日付けで監事を辞任しました。

職員

2014年3月31日現在

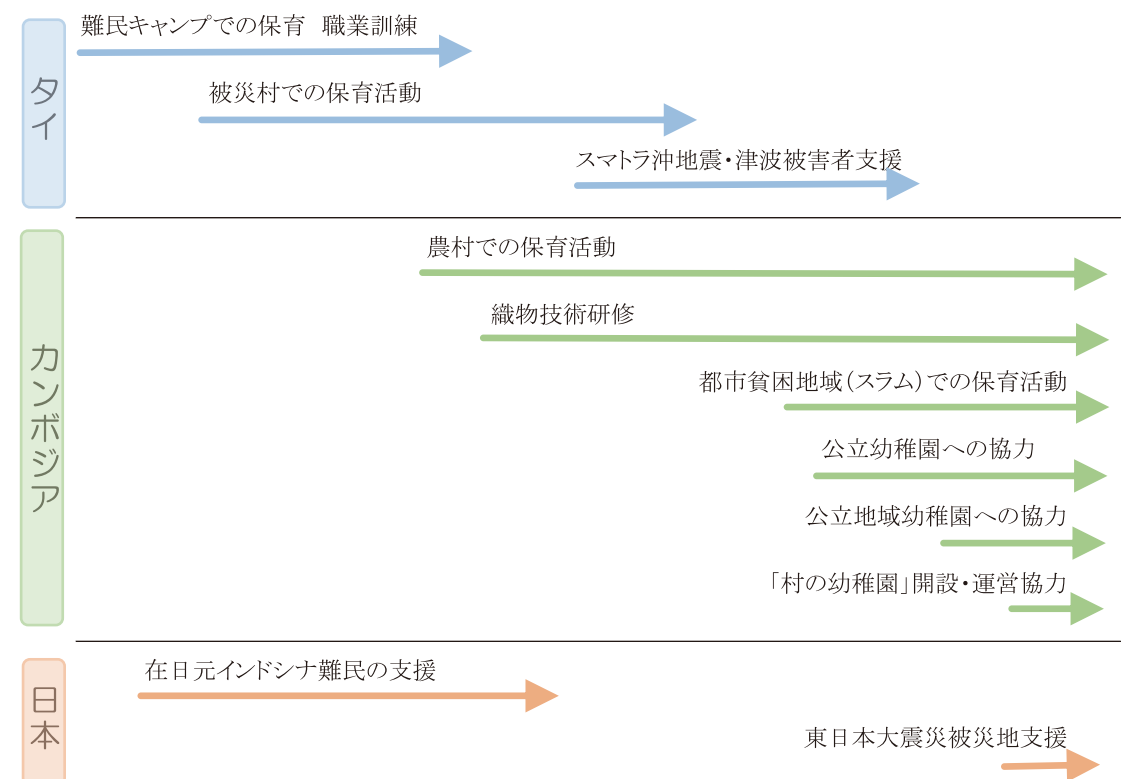
東京事務局：2名(事務局長 峯村 里香)  
カンボジア事務所：11名(所長 関口 晴美)

2014年6月1日現在

東京事務局：5名(事務局長 原 稔)  
カンボジア事務所：11名(所長 関口 晴美)

活動履歴

1980・・・84 85・・・89 90・・・94 95・・・99 2000・・・04 05・・・09 10・・・14





# 幼い難民を考える会の理念

幼い難民を考える会、その原点「カオイダン難民キャンプ」から34年。  
掲げる「理念」は、私達の活動の根幹として変わることなく受け継がれている。

## Children, Our Future

今日の子どもの幸せが、明日の平和な世界へつながります。

1980年、内戦により難民となったカンボジアの子どもたちが、  
タイ国境の難民キャンプの恵まれない環境のなかで  
少しでも人間らしい環境と必要な配慮のもとで暮らせるようにとの願いから、  
幼い難民を考える会(C Y R)の活動は始まりました。

難民キャンプ閉鎖後は、復興を目指すカンボジアの農村で、  
子どもたちが安心して暮らせる環境づくりと  
女性の自立を支援する活動に取り組んでいます。

会の名前を「難民の子ども」ではなく「幼い難民」としたのは、  
子どもという独立した人格を尊重する立場から  
子どもたちの成長が守られて初めて、  
祖国を逃れてきた人たちの、  
あるいは、その国の自立の問題に結びつくと考えたからです。

また、「考える会」としたのは、  
助けるという意識がしばしば相手の自立を侵したり、  
相手を管理する体制に陥りがちであることを認識し、  
難民問題をいろいろな側面から考えていきたいという  
会の基本姿勢に根ざしています。

私たちはこれからも、様々な理由により  
厳しい境遇におかれている子どもたちの健全な成長を支援し、  
その保護者達が人間らしい生活環境のもと自立できることをめざして  
ひとつひとつの小さな積み重ねを大切にしていきます。  
そのことが、難民を生み出さない、  
明日の大きな平和を創る力となることを、信じています。

■ 東京事務局  
〒112-0013  
東京都文京区音羽1-10-4  
池田ビル3F  
TEL :03-3943-6971  
Email:info@cyr.or.jp  
URL :http://www.cyr.or.jp

■ プノンペン事務所 - *Pidan Khmer* 併設 -  
# 170, St.63 Preah Trasak Paem,  
Sangkat Boeng Keng Kang I,  
Khan Chamkarmon Phnom Penh, Cambodia  
TEL : +855-23-210849  
Email: info@cyk.org.kh  
URL :www.cyk.org.kh



幼い難民を考える会(C Y R)は、難民となったカンボジアの子どもたちがけんめいに  
生きようとする姿に触発され、1980年に設立されました。子どもたちが心身ともに健全  
に成長し、その親たちが人間らしい生活環境のもとで自立できることが、難民を出さな  
い平和な社会につながることを信じ、復興をめざすカンボジアで活動を続けています。  
その経験を、東日本大震災の被災地支援活動でも活かしています。

2013年度年次報告書2014  
発行日:2014年6月  
発行人:深水正勝